

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52-(19)	・食事中にテレビがついているので食事に集中できない。 ・テレビを観ながら食事を楽しめる方がおられるので、テレビを消すと楽しみがなくなる。 ・各々のニーズに応える為のコーナーを作るスペースが狭い	・食事に集中できる場を作る ・テレビを観ながら食事を楽しめる場を作る。 ・共有スペースを効果的に利用する	・ソファの配置を換え、テレビを観る空間と食事をする空間を分ける。 ・楽しく食事をしていただけるようコミュニケーションで雰囲気を作る。 ・机を一脚新たに購入し、各々に適した環境で食事を楽しめるようにする。	6ヶ月
2	49-(18)	・商店街から離れた立地のため、利用者自らの日常的な買い物が難しい。 ・利用者自らが暮らしの中でお金を支払う場面が少ない。	利用者自身の選択で、近所の喫茶やスーパー、デパートなどでの買い物等、自由にお金の使える環境を整え、日々の楽しみとして頂く。	・現在行っている個別の支援に加え、小規模職員や家族との協力関係を強化し、買い物支援等の機会を増やす。 ・少額のお金を利用者自身で管理し、いつでも好きなことに自ら出費できるよう家族の理解と協力を働き掛ける。 外部受診時等に利用者自身で支払いが出来るように支援する。 ・自身で選択し買い物ができる移動販売等の検討。	12ヶ月
3	35-(13)	・風水害時の対応訓練が未実施 ・施設の避難訓練に地域の人の参加が無い ・地域の人に参加しにくいような急な階段や坂道の多い施設の立地	・緊急時や災害時に地域とお互い協力できるよう関係性を作る。 ・近隣住民と一緒に避難訓練を行う。 ・福祉避難所として、災害時に被災者の受け入れが出来るようになる。	・福祉避難所としての登録を行う。 ・地域の訓練に参加し、信頼関係を築き当施設の避難訓練の参加を呼び掛ける。 ・風水害時の対応訓練を29年度実施計画に組み込む。	6ヶ月
4					
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。